

基盤技術特集号の発刊にあたって

技術開発本部

副本部長

久保田 伸 彦

「基盤技術特集号」の発刊にあたり、これからご紹介する基盤技術から着想するイノベーションはいつ生まれるのかについて、私見を述べさせていただきます。

朝の通勤時にその日の業務、会議のシミュレーションを頭の中で行うと、会議のゴールイメージが明確になるとともに、当日議論する内容に関する従来とは異なる面からのアイデア、つまりイノベーションの種が浮かぶことがあります。早朝のフレッシュな頭脳は真っ白なキャンバスにも似て、昨日までの凝り固まった考えを捨て、新しい絵を描くのに適しているのだと思います。通勤時に音楽を聴いて集中力を高める、新聞を読んで情報を得ることも重要ですが、たまにはその日のシミュレーションをするのもよいかと思います。

IHI では近年、つなぐラボの設立をはじめ、お客さまの声に耳を傾け、お客さまと共創しようとする仕掛けと機会を増やしています。お客さまと直接に議論を交わすことは、文化、習慣、作法が違う人たちと交流することであり、その意見は新鮮であり、今まで考えてもいなかったアイデアが生まれる場合があります。本号の「基盤技術」の活用に関して議論をしても、「ハッ」となるような異なった面からのご意見をいただけることもあります。お客さまとお話しする際には、^{しんし}真摯にコメントを、時には苦言に耳を傾けることにより、お客さまに受け入れられるイノベーションのきっかけを得ることができると思います。

さらに海外でもこの経験を得たいと、2018 年末にアメリカのシリコンバレーにオープンイノベーション活動の加速と、さらなるビジネスの立ち上げを目指すための拠点 (IHI Launch Pad) を開所しました。この拠点はシリコンバレーのエコシステムに入り、海外のお客さま、研究機関、ベンチャーファンドなど多くの人と交流し、現事業への貢献、新事業の創出につなげようとするものです。予想を裏切ることなく、シリコンバレーで活躍する人たちは議論好きで、かつイノベーション、およびそのイノベーションをどのようにお金もうけにつなげるかにも敏感です。ここでさまざまなバックグラウンドをもつ人たちと話すことが、それぞれが保有する基盤技術をイノベーションにつなげる好機になるのではないかと期待しています。

イノベーションとは会議室にこもって絞出すだけでなく、さまざまな場面から生まれます。そしてそのイノベーションの文字どおり基盤となるのが IHI グループの保有する種々の基盤技術です。本号を通じて、IHI グループのイノベーションのポテンシャルについて読者の皆さまにご理解いただくとともにアイデアを生み出す一助となれば望外の喜びです。

